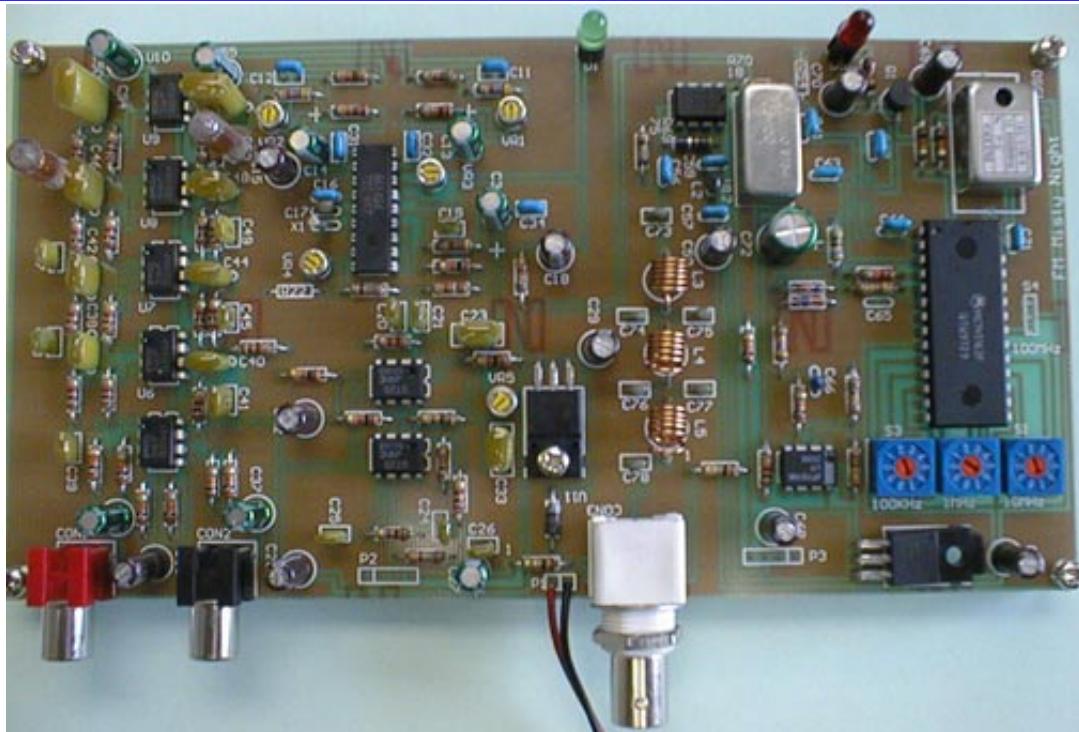


FM-Misty

PLL SYNTHESIZED FM STEREO TRANSMITTER



PLL ロック範囲

FM-Misty のロック範囲は 70 MHz ~ 99.9 MHz (スイッチ追加で 120 MHz まで) と広帯域でロック可能。
周波数ステップ

周波数ステップは 0.1 MHz (100 KHz) で FM受信機の全チャンネルに対応。

各種フィルタを搭載

15 KHz 8次チェビシェフローパスフィルタを搭載。

19 KHz パイロットフィルタ搭載

53 KHz MPX フィルタ搭載

100 MHz 型3段フィルタ搭載



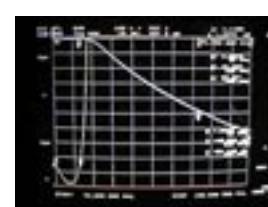
チャンネル設定スイッチ



19 KHz パイロットフィルタ



53 KHz MPX フィルタ



型3段フィルタ

オーディオ特性

周波数特性 30 ~ 15 KHz

50 uS ブリエンファシス

RCA ピンジャック入力

高周波特性

出力 50 mW

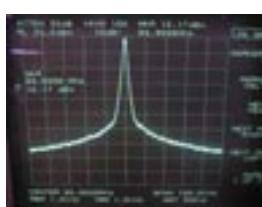
高調波レベル - 55 dB 以下

BNC 出力

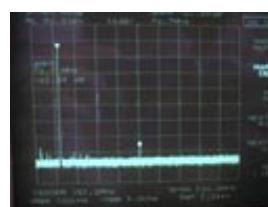
電源

電源電圧 13.8 V

消費電流 200 mA

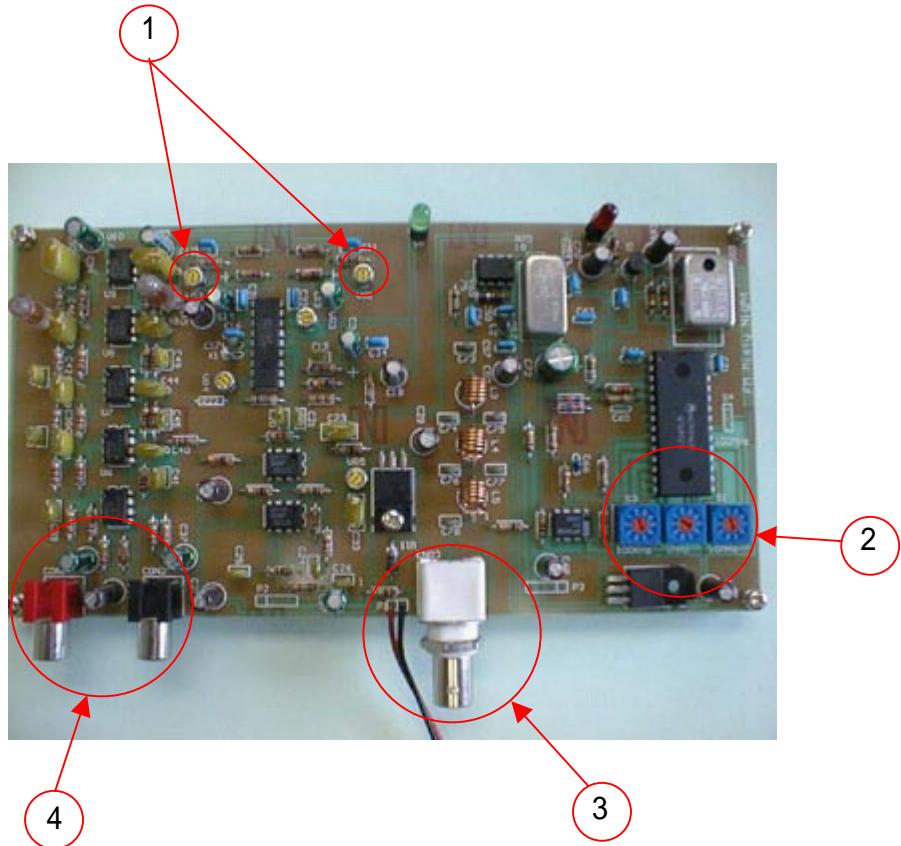


出力 16 dBm



2次高調波は -62 dB

基板部（周波数設定）説明



入力レベル調整ボリュ - ム (VR1、VR2)

入力レベルを調整します。

初期設定でラインレベルにしてありますが、入力レベルを調整したいときに使用します。

周波数設定スイッチ

送信周波数をセットします。

例えば 79.5MHz にしたいときは、[10MHz]を 7、[1MHz]を 9、[100KHz]を 5 にします。

周波数は 70.0MHz ~ 99.9MHz の範囲で使用できます。

アンテナコネクタ (BNC タイプ)

送信アンテナを接続します。

インピ - ダンスは 50 Ω です。

オ - ディオ信号入力コネクタ

オ - ディオ信号 (ラインレベル) を接続します。

使用方法

周波数 A L M (アラ - ム)

周波数がロックできない場合に赤の L E D が点灯します。

電源ON時に点灯し 5 秒ほどで消灯します。

L E D が点灯したままの場合は電源スイッチを入れなおしてください。

それでも点灯したままの場合、設定周波数が機器の対応範囲 (70MHz ~ 99.9MHz) を超えているか、または、機器が故障しています。



ケース前面

電源スイッチ

ONのときは青のランプが光ります。

アンテナコネクタ

アンテナを接続します。

電源入力端子

D C タイプ : D C 13.8V を入力します。

極性は内側が + 、外側が - です。

接続する外部電源プラグの極性を確認してください。

A C タイプ : プラグをコンセントに差し込みます。

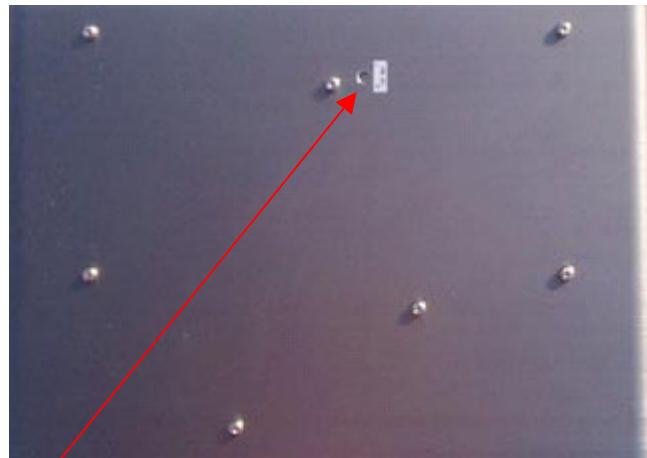


ケース背面

オーディオ信号入力コネクタ

ミクサ - などからオ - ディオ信号を入力します。

ピンジャックのアカに右信号 (R) クロに左信号 (L) を入力します。



ケース下面

出力調整ボリューム (出力可変タイプのみ)

出力を 50mW ~ 0.5mW の範囲で調整できます。

右に回すと出力は大きくなります。

真ん中で約 5mW になります。